

2025 大阪・関西万博 パナソニックグループパビリオン「ノモの国」に、

使用済み家電からリサイクルした当社鋼材が採用されました。

本日、2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)のパナソニックグループパビリオン「ノモの国」の起工式が、パビリオン建設予定地で実施されました。本パビリオン建設に当たっては、使用済み家電から回収した鉄スクラップを原料に当社が製造した鋼材が採用される予定です。当社は、パナソニックグループの「資源循環型パビリオン建築を実現したい」との思いに共鳴し、今般の「協働」に繋がりました。

当社は2013年より、パナソニックグループと共に、家電リサイクル工場から回収した鉄スクラップを、再び製品原料として使用する資源循環スキームを構築しています。本パビリオン建設においても、パビリオンで使用する鋼材約 118 トン(付帯鉄骨、リース部分およびファサードを除く)の約 82%、主な柱・梁(接合部のプレート等を除く)の約 98%にあたる 97.1 トンに、このリサイクル鋼材を用います。さらに、万博期間終了後には、再び鉄スクラップとして当社に戻り、パナソニックグループの製品等の原料として使用します。



※パナソニックグループの家電リサイクル工場では、「商品から商品へ」をコンセプトに「循環型モノづくり」へのチャレンジとして、使用済み家電から高効率・高純度の材料を回収し、様々な協力企業とともに資源(樹脂・非鉄・鉄等)を再度製品に活用する資源循環スキームが構築されています。

このスキームを活用し、パビリオンの建築においても家電リサイクル工場から回収された鉄・ガラス・銅などの材料をもとに生成された建築部材が積極的に採用されます。(上記イメージ図)

・東京製鐵「Tokyo Steel EcoVision 2050」 <http://www.tokyosteel.co.jp/eco/vision/>

・【パナソニックグループ公式 大阪・関西万博 パナソニックグループパビリオン「ノモの国」

資源循環型のパビリオン建築を実現】

<https://news.panasonic.com/jp/press/jn230712-1>

<本リリースに関するお問い合わせ> 東京製鐵株式会社 本社総務部

Tel: 03-3501-7721 Mail: somu@tokyosteel.co.jp